



公立芽室病院 第60号

だより

ホームページアドレス
http://memuro.com
又は芽室町ホームページのトップページから
アクセスできます。

メタボリックだけじゃない、 忘れちゃいけない LDL(悪玉)コレステロールとたばこ ～脂質異常症という新しい考え方も～

内科医長 森谷 満

「息子スノボ、俺メタボ」どこかで聞いた川柳の一部ですが、メタボリック症候群はすっかり皆さんの生活に定着したようです。メタボの診断項目を覚えていますか？ まず腹囲(おなか回り)、男性85cm以上、女性90cm以上でしたね。腹囲が大きいこと、これが必須です。そして血圧、脂質(中性脂肪が高いもしくはHDL(善玉)コレステロールが低い)、空腹時血糖でした。3つのうち2つ満たせばメタボとなります。

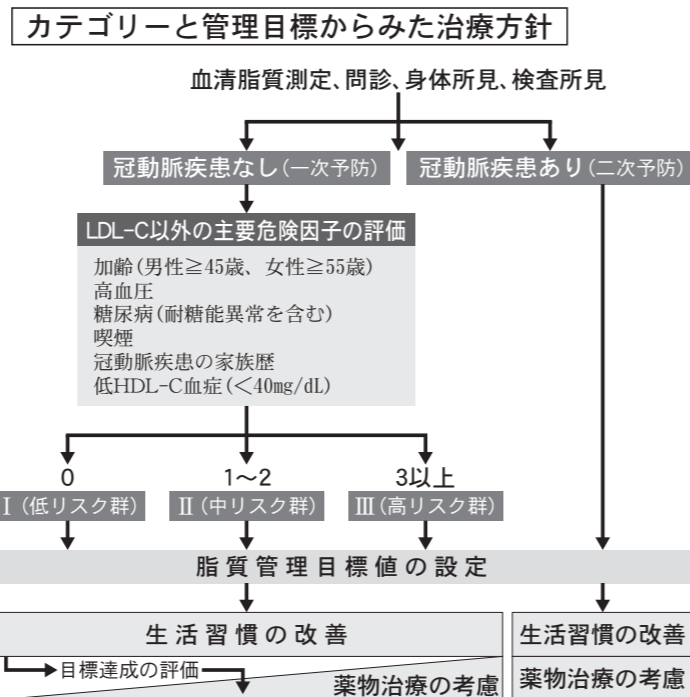
そもそもメタボリック症候群ってどのような症候群でしたか？ そうです、動脈硬化による病気、たとえば、心筋梗塞や脳梗塞になりやすい状態ということでした。腹囲、血圧、脂質、血糖はそれぞれ関連しあって動脈硬化を促進します。

メタボではHDL(善玉)コレステロールが低いことが問題とされます。さて、ここで気づきになられた方もいらっしゃると思いますが、メタボにはLDL(悪玉)コレステロールが入っていないのです。実はLDL(悪玉)コレステロールはもともと動脈硬化の危険因子で腹囲、血圧、脂質、血糖のように関連しないのでメタボリック症候群には入れなかったということです。もうひとつ喫煙も立派な動脈硬化の危険因子です。そこで日本動脈硬化学会ではメタボリック症候群の項目にLDL(悪玉)コレステロールと喫煙を加味したガイドラインを発表しました(別図)。メタボより複雑になっています。外来や健診受診のときに一緒に考えましょう。

以前は中性脂肪やLDL(悪玉)コレステロールが高いことを高脂血症といっていました。最近ではHDL(善玉)コレステロールが低いことも動脈硬化がすすむ因子とわかりメタボ

リック症候群の診断項目に入りました。これは低いの問題なので、“高”脂血症という表現ができません。そこで中性脂肪やLDL(悪玉)コレステロールが高いこととHDL(善玉)コレステロールが低いことを合せて「脂質異常症」と呼ぶようになりました。LDL(悪玉)コレステロールとHDL(善玉)コレステロールをわけて診断・治療を行うため総コレステロールは削除されました。当院では6月末からLDL(悪玉)コレステロールの院内測定を開始しています。

*なお、診断基準の対象が高脂血症から「脂質異常症」に変更されたことによる診断内容の実質的な変化はなく、診断名や薬剤投与適応症上の「高脂血症」は今後も残されます。



平成18年度 病院経営状況について

～ 実質的に6,301万円の黒字 ～

事務部長 齋藤 明彦

平成18年度の経営状況は、入院患者数が1日当たり117.1人で前年度と比較し8.6人の増加、外来患者数が1日当たり486.4人で34.6人の減少となりました。

入院収益は、12億5,663万円で前年度より1億1,279万円の増、外来収益では、6億9,289万円で前年度より5,110万円の減となりました。この収益を1人1日当たりで換算しますと、入院では29,391円(前年度28,884円)、外来では6,213円(前年度6,273円)になります。その他、健診収益、町からの負担金等を含めた総収益は24億1,961万円となりました。

一方、総費用については25億6,940万円で前年度より2億3,193万円の増となりました。増となった大きな理由は、平成2年度の病院改築時における長期借入金を繰上償還したことによる補償金(元金の他に繰上償還するために国に納付するお金)2億1,280万円を支払ったことによるものです。

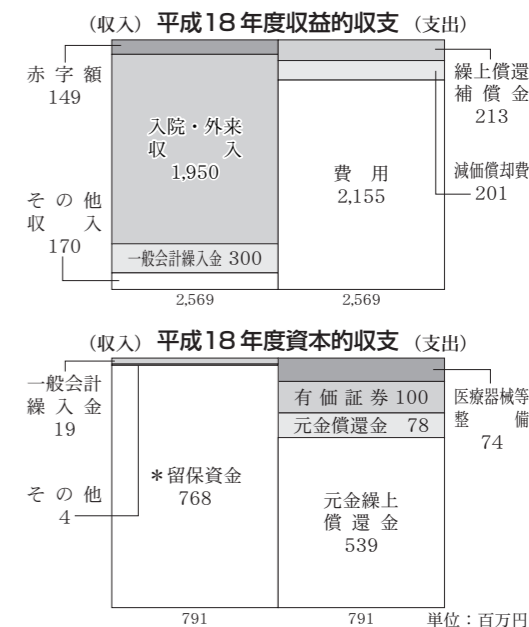
この結果、収支では1億4,979万円の赤字決算となりましたが、繰上償還の特殊要素がなければ6,301万円の黒字決算でした。

18年度末の累積欠損金(S43年度からH18年度までの経営における現在の赤字額)は、1億7,179万円ですが、繰上償還の特殊要素がなければ4,101万円の累積剰余金でした。

事業収支の状況

(単位: 万円)

項目	平成18年度	平成17年度	増減	増減率
病院事業収益 A	241,961	235,523	6,438	2.7%
うち一般会計繰入金	29,780	30,233	△453	△1.5%
病院事業費用 B	256,940	233,748	23,192	9.9%
うち繰上償還補償金	21,280	-	21,280	-
事業収支 A-B	△14,979	1,775	△16,754	-
補償金を除く実質的収支	6,301	1,775	4,526	255.0%
入院				
1人1日当たり入院収入	29,391円	28,884円	507円	1.8%
1日当たり平均患者数	117.1人	108.5人	8.6人	7.9%
外来				
1人1日当たり外来収入	6,213円	6,273円	△60円	△1.0%
1日当たり平均患者数	486.4人	521.0人	△34.6人	△6.6%



*留保資金とは

各年度における利益と各年度の経費であるが減価償却費など実際に支払われないお金を加算した病院で保有する資金。留保資金は、病院の整備・医療機器の整備などの投資的経費や長期借入金の償還に当てられます。H18年度に行った繰上償還の元金・補償金あわせて7億5,230万円は、留保資金をあてました。

〈留保資金の年度末残高の推移〉 (単位: 万円)

H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
11億8,419	10億 338	12億4,201	13億5,884	6億4,167